

きほく人奮闘記



まつうら たかゆき
松浦 孝行さん

9月2日から8日の間、韓国で開催された「第19回アマチュア無線方向探査(ARDF)世界選手権」。その大会に日本代表として出場した松浦孝行さん=下大野=が、144MHz帯M70(70歳以上)の部の個人および団体戦において、見事優勝を果たしました。

「ARDF」とは、山野等の競技地域内に隠された5個の無線発信機を、小型受信機と地図を用いて時間内に探し出し、ゴールを目指す競技(※M70の部ではその内の3個を探す)。松浦さんは、日本人として世界大会で初めて頂点に立ちました。「長年の夢がやっと叶った」と笑顔で話す松浦さん。また、

周りの方々からも、「まさか君が代が聴けるとは思っていなかった」と言われたそうで、「皆に喜んでもらえて嬉しい」と、満面の笑みを浮かべていました。

40歳から30年以上、競技者として活躍している松浦さん。自作の受信機は、28年間愛用しているもの。「私の体の一部」と話すほど、松浦さんにとって唯一無二の存在です。競技内の地形によっては、山の反射などにより、方向探索が困難な場合があるそうですが、松浦さんには長年連れ添った「相棒」がいるから心配ご無用。「長年の経験が役に立ったのかな」と、今回の大会を振り返っていました。

受信機を操る「操作力」、地図を読み取る「知力」、そして「体力」の3つが要となるARDF。「自分の判断だけで道を切り開くため、1回やり始めたらやめられない満足感が得られる」と、その魅力を話します。また、「ミスをせず試合を終えることは滅多にない」と話し、その奥深さが松浦さんの向上心につながっています。

国内外問わず、年に約3回大会に出場している松浦さん。国を越え、世代を超え、アマチュア無線を通して多くの人とふれあってきました。松浦さんは、「体力が続く限り大会に参加し、世界各国の人たちと交流していきたい」と、ARDF界を引っ張る1人として、さらなる意欲を見せていました。

鬼王丸 ほんのぼの日記

作 梶形 浩人
絵 にのみや なつみ



人口と 9/30現在

世帯数

人口	10,431人
男性	4,879人
女性	5,552人
世帯数	5,068世帯

※外国人住民を含みます。



鬼灯の形をした提灯とともに

編集後記
▼泉小学校のぶどう収穫祭や、食生活改善協議会などの取材に行った際、おすそ分けをいただきました。秋の味覚、大変美味しかったです。ありがとうございました。
▼鬼北町発掘隊(隊長・上甲民治)が主催する「鬼灯まつり」。今年4回目を迎えた当祭、皆さんは鬼灯を食べられたことはありませんか。ブチトマトのような食感で、甘酸っぱさが癖になる果実ですよ。健康にも良いとされている食べ物なので、ぜひ、皆さんも一度ご賞味ください。(悠)